

令和4年度 学位授与式告示

九州産業大学令和4年度学位授与式に当たり、大学を代表して、卒業生並びに保護者の皆様に「ご卒業おめでとう」のお祝いを申し上げます。また、本日、ご臨席いただきましたご来賓の皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さんに次のことを伝えたいと思います。

本学は中村治四郎先生が敗戦後の荒廃の中で、国家・民族の将来を憂いて、幾多の困難を乗り越え、学校の創立を実行されました。まさに、卓然自立の体現であり、今では当たり前となった実学志向の建学の理想「産学一如」を掲げられました。みなさんは「産学一如」のもとで学んだ見識をこれからの社会で実践し、その大切さを実感することになるでしょう。同時に、次の世代にその考えを語り継いでいく「語り部」になります。

皆さんの学生時代は、本学が創立60周年を迎え、100周年ビジョンとして「新たな知と地をデザインする大学へ」を掲げ、2030年の「文理芸融合のグローバル総合大学へ」に向けた改革が進む中での学びとなりました。また、コロナ禍では、遠隔と対面を活用した新しい授業形態やDX化による社会システムの転換など歴史的な変革期の中で、昨年秋には3年振りに香椎祭を対面で開催することができました。多様な制約の中で、知恵と工夫で学び抜いた体験は、苦労が多かったと思いますが、記憶に残る学生生活だったと思います。

将来に目を向ければ、私たちを取り巻く環境は少子高齢化や地方の衰退、超スマート社会化が急速に進展していきます。また、想定不能な自然災害、地球環境問題、地域間の紛争などが加わり、これらはグローバルに連結した課題となり、私たちの日常生活にまで影響を及ぼしてきています。工業化社会から高度情報化社会を経て、新たに人々の多様な精神や感覚への配慮が求められる社会に移行してきており、まさに正解のない課題に向き合っていかなければならない時代になりつつあります。

これからは複雑化する新たな課題の解決に向けて、創意工夫に挑戦する勇気とそれを実践・実現するために、一步踏み出す熱意が求められる時代だと思います。皆さんには未来にむけて自ら考え、新たな改善・改革を推進する力を発揮することが期待されています。

一方、現代社会には、グローバル化の進展により、国や分野を超え、地球規模の文化や価値観があふれています。人間は自分が学び・経験したことに、異分野に触れることで枠を越え、多角的に物事を捉えることができます。皆さんは、本学で取り組んだ多様な文理芸融合の学びを活かして、新しいダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの時代の中で、社会を変革していくことができる強い意志を持ち、つぎの世界に羽ばたいてください。

結びに、卒業生の皆さんに「構想は大胆に、行動は着実に、いつも笑顔で」の言葉を送りたいと思います。学び続ける社会人として活躍されることを期待するとともに、ご健康と明るい前途を祈念して、私の告辞といたします。

令和5年3月17日

九州産業大学長 北島己佐吉